

令和元年9月6日

保護者様

神崎市立千代田東部小学校
校長 中村 美枝子

初秋の候、日頃より本校の教育活動に対するご理解とご協力ありがとうございます。7月の始めに実施しました第1回目の「学校評価」の集計結果について、下記のようにお知らせいたします。集計にあたり、「1：そう思う 2：だいたい思う 3：あまり思わない 4：思わない」のご回答で、「1」と「2」の合計を「A評価」としています。

一般的に、保護者・児童からのアンケート結果は大変良好でした。今後も、これらの結果を学校経営に反映させ、今後も保護者の方々に信頼され、子供たちが「元気いっぱい、笑顔を輝かせながら学ぶ」学校づくりに役立てていきたいと思っております。

1 保護者アンケートで「A評価」が95%を超えていた項目

- ・毎日元気に登校している(100%)
- ・毎日宿題をしている(99%)
- ・地域の特色を生かす教育を行っている(99%)
- ・学校公開を積極的に行っている(98%)
- ・分かりやすい授業を行っている(98%)
- ・学習習慣の定着(98%)
- ・学校の様子をよく伝えている(97%)
- ・心の教育に力を入れている(97%)
- ・ヘルメットをつけて自転車に乗る(97%)
- ・安全のための指導・取組(95%)
- ・SNSの利用のルールの徹底(95%)

○「A評価」が90%を超えた項目

- ・ボランティア活動への取組(93%)
- ・「ちとせの子」が定着している(91%)
- ・学校からの便りや宿題などの確認(90%)

2 保護者アンケートで課題となった項目(昨年度よりも向上しています)

- ・決められた学習時間は勉強している(78%)
- ・子供のよいところを見つけている(79%)
- (昨年度の第2回目では、70%でした。)
- (昨年度の第2回目では、56%でした。)

3 児童アンケートで「A評価」が90%を超えていた項目

- ・朝食を食べる(100%)
- ・千代田の町や人が好き(98%)
- ・ノーゲームデーの取組(98%)
- ・ヘルメット着用(98%)
- ・きまりを守る(97%)
- ・学校が楽しい(96%)
- ・無言掃除(96%)
- ・トイレのスリッパ並べ(96%)
- ・友達と協力する(95%)
- ・忘れ物をしない(93%)
- ・本を読んでいる(92%)
- ・家庭学習の時間を守る(92%)
- ・自分には良いところがある(90%)

4 児童アンケートで課題となっている項目

- ・夜ふかしをせず、早く寝ているか(78%)

裏面もご覧ください。

5 今回、良くなった項目

- ・(児童) 「自分にはよいところがある」(83% ⇒ 90%)
- ・(保護者) 「子供のよいところを見つけている」(56% ⇒ 79%)
- ・(保護者) 「決められた時間は勉強している」(70% ⇒ 78%)

昨年度の第2回のアンケートで課題となった項目が、今回大変良くなっています。特に、児童へのアンケートでの、「自分にはよいところがある」(83%⇒90%)の回答が確実に向上しています。

学校全体で「自己肯定感を高める」取組に、道徳教育を中核として取り組んできた成果ととらえています。保護者へのアンケートでも、「子供のよいところを見つけている」(56% ⇒ 79%)の回答が伸びてきています。学校と連携して、各ご家庭でも「子供の良さ」を認め、伝えていただいていることがうかがえます。今後も継続して家庭と学校とが連携し、子供たちの「良さや頑張り」を見つけ、称賛しながら自己肯定感の向上につなげていきたいと思ひます。

一方、今後、改善・努力するべき点については、下記のように家庭と学校とで連携しながら、効果的な対策に取り組んでいきたいと思ひます。

○早寝早起きの習慣に向けて

今回のSNSに関するアンケートでも、ゲームやネットの長時間利用の実態があります。学校では以下の取組を行います。ご家庭でのご指導もお願いします。

- ・10月の家庭教育学級で、SNSの長時間利用の問題についての講演を行います。
- ・保健体育や特別活動の学習で、睡眠の大切さについて、重点的に指導します。

○ボランティア活動の推進に向けて

保護者へのアンケート「(学校は) ボランティア活動への意欲を高めていますか」での評価は93%と高評価ですが、子供のアンケート「進んでボランティア活動をしていますか」では、82%の回答であり、90%を下回っています。

しかし、子供たちの毎週のアルミ缶回収ボランティアや、先日の全校除草作業への参加は、積極的に取り組むことができています。これらの状況を踏まえ、10月からのボランティア・美化委員会による「ボランティア月間」への取組や、ボランティアパスポートへの取組などの活動を充実させていきます。

○家庭学習時間の定着に向けて

保護者アンケートの「毎日宿題をしている」が99%であるにも関わらず、「(子供は) 毎日学年で決められた時間(10分×学年+10分)、家庭学習をしていますか」では、78%となっています。宿題を終えた後の自主学習への取組の充実が必要です。そこで、以下の取組を行います。

- ・優れた「自学ノート」を掲示することで啓蒙し、自主的な学習への取組を勧めます。
- ・毎学期の「家庭学習頑張り週間」に取り組む、家庭学習の習慣化を更に推進します。
- ・中学校と連携をしながら、家庭学習の記録を付ける「放課後の生活計画表」作成を行い、家庭学習時間の定着に取り組めます。

2学期末に、第2回目のアンケートを実施します。よろしくお願ひします。

* SNS等の使い方に関するアンケート結果から

今回のSNSのアンケート結果をもとに、児童と保護者のアンケートの比較を行いました。その結果、以下のようなことが分かりました。

- ① テレビゲーム等の時間では、保護者のアンケートよりも児童のアンケートの時間が、かなり長い。(例 保護者回答：4時間以上1人、児童回答：5人)
- ② インターネット等の利用時間でも、保護者のアンケートよりも児童のアンケートの時間が、かなり長い。(例 保護者回答：4時間以上1人、児童回答：3人)

問3	保護者	児童	問4	保護者	児童
テレビゲームの時間	人数	人数	ネット利用の時間	人数	人数
A:4時間以上	1	5	A:4時間以上	1	3
B:3時間以上	3	4	B:3時間以上	2	3
C:2時間以上	7	14	C:2時間以上	0	7
D:1時間以上	17	20	D:1時間以上	9	5
E:1時間未満	31	36	E:30分以上	9	23
F:全くしない	17	29	F:30分未満	25	33
			G:持ってない	30	33

保護者の皆様が思われている以上に、子供たちは長時間にわたりテレビゲームやインターネット等を使っているととらえています。テレビゲームやネットの利用を、毎日数時間以上もしている子供が数多くいます。そのことは、児童アンケートで課題となっている「夜ふかしをせず早く寝ているか(78%)」にもつながっているのではないかと考えられます。ご家庭でのSNS等の利用に関して、今一度ルールの設定やご家庭でのご指導をお願いします。

また昨今では、残虐な内容のゲームも流行しているようです。今一度、子供がどのようなネットゲームをしているのか、その内容を確実に把握していただき、利用の仕方をご指導ください。

ご家庭でのテレビゲームやインターネット等の利用に関して、家庭でのルールについての設問がありました。素晴らしい取組が数多くありましたので、幾つかを紹介します。家庭でのルール作りに、是非参考にさせていただきます。

< 家庭でのルール >

- ① ゲームやSNSを使う時間を決めている。親のいるところとする。
- ② 何を見たか、何を検索したか、親子で共有する。
- ③ 夜9時までにはゲームをやめる。その前に宿題をする。
- ④ 社会体育などの部活がない日は、夕方5時までできるが、約束を破ったら禁止となる。
- ⑤ 宿題と明日の準備が終わってから使用する。その後、貸出帳に記入して、チェックを受けて夜9時までには返却する。もしルールを破ったら、1週間使用禁止。
- ⑥ 親がロック解除対応をしている。

各家庭でのいろいろなルールがあります。子供と話し合う材料にしてください。裏面には、佐賀県が発行している「課金トラブル」の資料を添付しています。ご参照ください。